

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

鳥取県立米子高等学校

重点項目	アクティブ・ラーニング推進	提出日	平成31年2月18日
------	---------------	-----	------------

1 学校目標

- 確かな学力の育成 ・学力の向上 ・思考力、判断力、表現力の更なる向上
- 豊かな人間性の育成 ・基本的生活習慣の定着 ・生徒の主体的活動の推進
・支援が必要な生徒への援助
- 地域との連携による学校づくり ・地域のニーズに応じた地域貢献
・積極的な社会参画と情報発信
- 自己実現のための進路指導の充実 ・キャリア教育の発展 ・進路指導の充実

2 重点項目に係る目標

- ①組織的、計画的にアクティブ・ラーニングで授業改善を推進する
- ②系列の特色化と資格取得を促進する
- ③テーマ学習を進化させ課題解決能力を高める
- ④ICT機器利活用の推進（活用する教員の推進）

〈数値目標〉

○実績

項目	H28	H29	H30
大学合格者数（国公立大学）	26(6)	30(11)	22(9)
学びの文化祭 inYonago	113	77	78
各種検定合格率	32.9%	46.6%	44.4%
テーマ学習アンケート伸長ポイント	0.6	0.4	0.2
タブレット活用教員数割合	15.8%	34.2%	82.9%

- ①-1 授業研修参加者 100人 ①-2 大学合格者数 30人
- ②-1 資格取得（ビジネス文書実務検定1級・秘書技能検定2級・簿記実務検定2級・保育技術検定1級）は合格者が受験者の50%
- ②-2 実用英語技能検定2級の受験を促進し合格者を増やす
- ③テーマ学習における生徒の自己評価アンケート項目「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「創造力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」における評価が、事前から事後で5段階の平均値が0.4ポイント以上伸長する
- ④教員全体の人数に対して、授業でのタブレット端末活用状況 80%

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

- アクティブ・ラーニング推進事業～21世紀型能力を育む次世代授業の創造～「学びの文化祭 in Yonago」→5科目で研究授業を実施し、全体での研究協議実施
- エキスパート教員認定制度→エキスパート教員の研究授業による授業力向上
- ICT（タブレット端末）活用推進事業→ICT活用による授業改善
- 鳥取県版キャリア教育推進事業
・「ようこそ高校へ」版キャリア塾→卒業生や県内有識者・県外大学教授等による講演会を実施
- 外部人財活用事業
・社会人講師活用事業→専門家による教科指導を行い、生徒の学習意欲の向上と職業観、勤労観の育成

【学校独自事業】

- 系列事業 ➢ 英語多読指導 ➢ 家庭・福祉（施設等実習）
➢ 野外活動（ゴルフ・カヌー・乗馬、スキー実習）
- 国際交流 ➢ セント・トーマス・アクワイナス高校交流 ➢ 韓国造形芸術高校交流
- 産社・テーマ ➢ テーマ学習の充実 ➢ 産業社会と人間 ➢ 学習成果発表会（他校招聘）
- 進路指導充実 ➢ マナー講習会 ➢ 看護の職場体験 ➢ 進路指導資料の充実・進路講演会
- 指導力向上 ➢ 教員研修・大学等訪問 ➢ コーチングスキル講習会 ➢ 新テスト対応
- 手話交流 ➢ 特別支援学校交流